

教科目標

(1) 話すこと聞くこと

相手や目的に応じ、調べた事などについて、筋道を立てて話すことや、話の中心に気をつけて聞くことができるようにするとともに、進んで話し合おうとする態度を育てる。

(2) 書くこと

相手や目的に応じ、調べた事などが伝わるように、段落相互の問題などを工夫して文章を書くことができるようにするとともに、適切に表現しようとする態度を育てる。

(3) 読むこと

目的に応じ、内容に中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら、読むことができるようにするとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。

学習計画

月	学習すること	学習のねらい	時間
4	1.人物の気持ちを想像しながら声に出して読もう <ul style="list-style-type: none"> こわれた千の楽器、詩 作文「4年生になって」 書写「毛筆で書こう」 	<ul style="list-style-type: none"> 場面の様子や人物の気持ちを想像し、それぞれが伝わるように音読することができる。 毛筆の姿勢、筆の持ち方、用具の置き方がわかる。 	読む 10 書く 3 2
5	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞典の使い方を知ろう 2.出来事をしょうかいするスピーチをしよう <ul style="list-style-type: none"> 知らせたい、あんなことこんなこと お礼の手紙を書こう 主語と述語の関係をとらえよう 書写「画の長さ」 	<ul style="list-style-type: none"> 漢字辞典の仕組みと、部首引きの方法を理解することができる 必要なことを落とさずに話したり、メモを取りながら聞いたりすることができる。 お世話になった人にお礼の手紙を書き、相手に気持ちが伝わる文章を書くことができる 主語と述語について理解し、文の構成を知ることができる。 横画の長さを考えて書くことができる。 	言語 3 話聞 5 書く 5 言語 2 2
6	3.段落と段落の結び付きを考えながら読もう <ul style="list-style-type: none"> ヤドカリとイソギンチャク 電話で伝え合おう 漢字の読み方に気をつけよう。 作文「運動会」 	<ul style="list-style-type: none"> 段落相互の関係を考えて、書かれていることを正しく読み取ることができる。 電話での会話の仕方がわかる。 漢字の音訓や送りがなについて理解することができる。 	読む 9 話聞 3 言語 3 書く 6

	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字の表記の仕組みを理解し、五十音を覚えて簡単な単語を読むことができる。 	言語 2
	<ul style="list-style-type: none"> 書写「画の方向」 	<ul style="list-style-type: none"> はらいの方向を考えて、字形を整えて書くことができる。 	2
7	4. 物語のもりあがりを考えながら読もう <ul style="list-style-type: none"> 夏のわすれもの 自分新聞を作ろう 作文「もうすぐ夏休み」 書写「画の方向」 	<ul style="list-style-type: none"> 物語を読み、場面の移り変わりや情景を想像し、物語のもりあがりを考えることができる。 形式や構成に注意して記事を書くことができる。 	読む 7 書く 8
	<ul style="list-style-type: none"> 書写「画の方向」 	<ul style="list-style-type: none"> はらいの方向を考えて、字形を整えて書くことができる。 	書く 3 2
9	5. すじ道をたてて説明しよう <ul style="list-style-type: none"> 「くらしの百科」の時間です 	<ul style="list-style-type: none"> 紹介したい「生活の工夫」について、分かりやすく工夫して話したり、友達の発表を、大切な点に注意して聞いたりすることができる。 	話聞 11
	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字 作文「夏休みの思い出」 書写「筆順と字形」 	<ul style="list-style-type: none"> ローマ字で書かれた簡単な単語を読み、ローマ字を使って単語を書くことができる。 	言語 2 書く 5
	<ul style="list-style-type: none"> 「ことわざ・故事成語」辞典を作ろう 	<ul style="list-style-type: none"> 左右の筆順と画の長短、文字の形を理解することができる。 ことわざや故事成語に興味を持ち、いろいろな語や表現を調べて、自分でも使えるようにすることができる。 	3 言語 3
10	6. 愛の心をえがいた物語を読もう <ul style="list-style-type: none"> 世界一美しいぼくの村 心の目を開いて 感想文を書こう 書写「組み立て方」 	<ul style="list-style-type: none"> 人物の気持ちや場面の様子に注意して、物語の出来事の流れを読み取るとともに、読んだ本についての感想を伝え合うことができる。 感じたことや想像したことを、表現を工夫して詩に書くことができる。 感想文の発表を通して、自分と友達の考えの違いに気づき、考えを深めることができる。 	読む 12 書く 3 書く 4
	<ul style="list-style-type: none"> 書写「組み立て方」 	<ul style="list-style-type: none"> 折れや折り返し、曲がりの筆づかいを理解することができる。 	4
11	7. いろいろな「環境を守るくふう」について調べよう <ul style="list-style-type: none"> ウミガメのはまを守る 文と文をつなぐ言葉の働きを考えよう 	<ul style="list-style-type: none"> ウミガメの保護について書かれている内容を正しく読み取り、環境保護の工夫について調べることができる。 文と文を接続する言葉の働きを理解することができる。 	読む 13 言語 3

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 作文「船小プレイランド」 ・ 書写「筆使い」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 漢字ひらがなの筆づかいの違いを考えて書くことができる。 	<p>書く 6 4</p>
12	<p>8.中心をはっきりさせて書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 活動ほう告を書こう 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 段落と段落の続き方に注意して、伝えたいこととの中心をはっきりさせて書くことができる。 	<p>書く 12</p>
1	<p>9.くらしの中の世界について話し合おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ くらしの中の和と洋 <p>漢字を正しく使おう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 作文「冬休み」 ・ 書写「書初めをしよう」 <p>「百人一首」のお気に入りの歌をしょうかいしよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文字の中心を考えて、字形を整えて書くことができる。 ・ 「和」と「洋」の対比に注意して文章の要点を読み取り、暮らしの中にある日本の文化と外国の文化について、意見や感想を話し合うことができる。 ・ それぞれの漢字には意味があることを理解し、同訓・同音の漢字を正しく使い分けることができる。 ・ 文字の中心を考えて、字形を整えて書くことができる。 ・ 和歌の持つ五・七・五・七・七・のリズムに加え、古語の美しいひびきを味わうとともに、自分の心にひびく一首を見つけることができる。 	<p>書く 5 2</p> <p>話聞 11</p> <p>言語 3</p> <p>書く 4 3</p> <p>言語 4</p>
2	<p>10.人物の気持ちの移り変わりを考えよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ごんぎつね <p>作文「持久走大会」</p> <p>書写「まとめ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場面に移り変わりや、登場人物の気持ちの変化をとらえ、心に強く残った事を考えることができる。 ・ 小筆の持ち方や使い方を理解し、名前を丁寧に書くことができる。 	<p>読む 12</p> <p>書く 4 4</p>
3	<p>11.伝えたいことを選んで書こう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 一年間の思い出をしょうかいしよう <p>作文「六年生を送る会」</p> <p>ローマ字</p> <p>書写「まとめ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一年間の思い出から題材を選び、紹介の方法を選んで工夫して書くことができる。 ・ 身近な生活の中のローマ字表記について知り、ローマ字の読み書きになれることができる。 ・ 四年生で学習したことをまとめることができる。 	<p>書く 12</p> <p>書く 5 言語 2</p> <p>2</p>

合 計 授 業 時 数	2 3 5 時間			
	話す・聞く	3 0 時間	書く	8 5 時間
	読む	6 3 時間	言語	2 7 時間
	書写	3 0 時間		